

人 輝く・安芸高田



あきたかた

# 議会だより

今回の題字は、<sup>おお</sup> <sup>しも</sup> <sup>あきら</sup> 大下 晶 さん（美土里小学校6年生）です。



表紙の絵は「平成24年度文化財を描こう」市長賞 <sup>みや</sup> <sup>もと</sup> <sup>さ</sup> <sup>つき</sup> 宮 本 紗 月 さん（当時郷野小学校6年生）「歴史ある木造校舎」です。

3月定例会.....2~3

予算審査  
常任委員会報告.....4~7  
.....8~10

一問一答  
14人が**市政を問う**.....11~17

あんな こんな  
**地域のかがやき**.....20

第37号

2013(平成25)年5月1日発行

# 可決

## 3月定例会

3月定例会を、2月22日～3月15日までの会期で開催しました。

一般会計、特別会計、水道事業会計など13会計の25年度予算及び24年度補正予算は、予算決算常任委員会へ付託し、すべて原案のとおり賛成多数で可決しました。（予算審査は4～7ページに掲載）

総務企画常任委員会へ2議案。文教厚生常任委員会へ2議案。産業建設常任委員会へ2議案を付託し、すべて原案のとおり賛成多数で可決しました。（各常任委員会審査は8～10ページに掲載）

本定例会において、議案等54件、いずれも原案のとおり可決しました。

# 大型事業が最終段階

**0万円**（対前年度25億8500万円減）

**0万円**（対前年度21億3800万円減）

一般質問では、14人が市政を問いました。（11～17ページに掲載）

### 同意（2件）

○教育委員会委員の任命

永岡サヨ子さん

高宮町船木

○固定資産評価審査委員会委員の選任

小川 博昭さん

吉田町常友

### 同意

### 討論

議案第34号  
25年度一般会計予算

### 反対

なし

### 賛成

見玉 財政健全化計画に沿った予算編成であり賛成する。

### （付議された案件）

条例関係（新たな条例制定又は廃止・条例の一部改正など）

○議案第1号

安芸高田市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

○議案第2号

安芸高田市証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例

○議案第3号

安芸高田市暴力団排除条例の一部を改正する条例

○議案第4号

安芸高田市コミュニティ消防センター条例の一部を改正する条例

○議案第12号

安芸高田市光ネットワーク設備管理運営基金条例

○議案第13号

安芸高田市障害認定審査会の委員の定数等を定める条例及び安芸高田市福祉施設新設奨励条例の一部を改正する条例

○議案第14号

安芸高田市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

○議案第15号

安芸高田市新型インフルエンザ等対策本部条例

○議案第16号

道路法に基づく道路の構造の技術的基準等を定める条例

○議案第17号

河川法に基づく準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例

○議案第18号

安芸高田市道路占用料に関する条例及び安芸高田市法定外公共物の管理

○議案第18号

安芸高田市法定外公共物の管理

25  
年度  
予算

# 2年ぶりに減少

## 一般会計総額 209億590

## 普通建設事業費 22億100

### 議員提出議案

#### ■ 発議第1号

安芸高田市議会議規則の一部を改正する規則

#### ■ 発議第2号

安芸高田市議会議会条例の一部を改正する条例

#### ■ 発議第3号

安芸高田市議会議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

### 討論なし

全員賛成



#### ○ 議案第19号

に関する条例の一部を改正する条例  
安芸高田市公民館条例の一部を改正する条例

#### ○ 議案第20号

安芸高田市社会体育施設等設置及び管理条例の一部を改正する条例

#### ○ 議案第21号

安芸高田市給食センター設置条例の一部を改正する条例

### 公的財産関係など

#### ○ 議案第5～6号

財産の無償譲渡・貸付について  
【消防団詰所関係】

#### ○ 議案第7～8号

財産の無償譲渡・貸付について  
【診療所及び診療所看板用地関係】

#### ○ 議案第9号

安芸高田市公の施設の指定管理者の指定について

### 事業・予算関係（計画の変更・補正予算など）

#### ○ 議案第10～11号

工事請負契約の変更について  
【安芸高田市葬斎場建築本体・機械設備工事】

#### ○ 議案第47号

工事請負契約の変更について  
【光ネットワーク整備工事】

#### ○ 議案第22～33・48・49号

24年度安芸高田市一般会計補正予算  
ほか（12会計）

#### ○ 議案第34～46号

25年度安芸高田市一般会計予算  
ほか（13会計）

# 光ネットワーク整備 11億1000万円 (総事業費 40億円)

## 25年秋全市完成目指す



光ファイバー敷設工事

### 予算決算常任委員会

2月22日の本会議において審査を付託された25年度一般会計・特別会計予算13議案を3月8・11・12の3日間委員会を開き、慎重に審査しました。

委員長 青原敏治  
副委員長 先川和幸  
委員 議長を除く全議員

### 主な質疑

#### ■ 一般会計 ■

#### ■ 一般会計全体

秋田 歳入で市税は大きな減額となっているが。

#### ■ 竹本企画振興部長

経済の動向が大きく影響しており、特に法人市民税・固定資産税の減額が大きい。

児玉 25年度削減された事業があるか。  
竹本企画振興部長

主なものとして防犯灯設置事業、地域農道リフレッシュ事業の減少。また、家庭へ設置する太陽光発電の補助額の減額など。

#### ■ 総務部

児玉 光ネットが整備され、お太助フォンが導入されることによる、文書配送等、行政情報の伝達方法の見直しは。

#### ■ 杉安総務課長

行政嘱託員による文書配送は引き続き維持しながら、お太助フォンをどのように活用できるか内部で協議中。

久保 「安全・安心パトロール」事業で不法投棄の傾向、状況は。

#### ■ 行森危機管理室長



安全・安心パトロール (青パト)

大型ごみは減少し、家庭ごみが増加している。警察署と連携し、立て札の設置やパトロールの強化を進めている。

#### ■ 企画振興部

秋田 未来創造事業に関連し、委託料がかなり増額しているが、何に重点を置いて取り組むのか。

#### ■ 竹本企画振興部長

昨年度は、主に神楽

や毛利元就などPRに重点を置き事業展開をしたが、今年度はPRとともに、観光消費額を増やすための仕組みづくりへシフトし、新たな事業展開を図る。

#### ■ 前重 ホームページ

での動画の配信は。

#### ■ 山平政策企画課長

ニーズが高いと捉えており、25〜26年度に計画しているリニ

(市民総ヘルパー構想)

# 健康倍増計画の推進 4529万円

- ・生活習慣病重症化予防事業
- ・健康づくり推進・啓発事業



健康づくり体操

ユーアル時に取り組む。

**石飛** 光ネットワーク管理運営費8596万4千円は、毎年継続して計上されるのか。

**広瀬情報政策課長** 毎年7千万円近くの管理費がかかるため、恒常的に予算計上となる。

■**市民部**  
**久保** ごみ処理経費増加の要因は。

**中村市民生活課長** 一般家庭や老人ホームなどの可燃系のごみが増えている。

**秋田** 環境基本計画等推進支援業務委託の使い方は。

**中村市民生活課長** 市民組織である「環境もやい☆安芸高

田」と連携して、「第2回かんきょう祭インあきたかた」を実施、また、水辺の学習、学校の環境学習も展開する。

**熊高** ごみの量が増える状況に市長の大局的見地で考えを伺う。

**市長** 分別をさらに増やし、ごみを全部資源化するつもりでがんばっていきたい。ご協力をお願いする。

■**福祉保健部**  
**児玉** 生活保護扶助費が23年度より減少しているが。

**岡島社会福祉課長** 就労状況が回復し、24年度に15名の方が就労されるなど改善してきていることが大きな要因と考える。

**秋田** 母子家庭高等技能訓練促進費は、



資源ごみの分別

24年度は87万円、25年度は365万円と増額されているが。  
**可愛川子育て支援課長** 24年度は1名で25年度は3名分を計上した。

**宍戸** 若年性生活習慣病重症化予防事業委託料は、どういった事業展開をされるのか。

**中元保健医療課長** 若い時から生活習慣

病の予防に気を付けていたかどうかということ、事業計画を策定する委託料として計上している。

■**産業振興部**  
**金行** 新規事業である「新規就農総合支援事業」の内容は。

**猪掛地域営農課長** 農業が厳しい状況に直面しているなかで、持続可能な力強い農業を実現するた

# 未給水区域解消事業 1億1150万円

## 甲田給水区（山田地域） 配水施設整備



観光協会事務局入居予定の向原駅「ラポート」

め、国の施策である「人・農地プラン」を作成し、このプランに位置づけられた青年就農者に対し支援する事業。

**熊高** いよいよ観光協会が設立されるが、どのような役割を担うのか。  
**小田産業振興部特命担当部長**  
市内全域にある観光資源をつなぎ合わせ

るといふ形の中で、まずは様々な飲食、交通、宿泊など事業者の方々と連携しながら地域全体の経済振興につないでいきたい。

**建設部**  
**熊高** 道の駅の測量調査設計業務は、国、市との事業区分やJAとの連携をどの程度考えて調査する予定か。

### 西原建設課長

敷地が確定すれば市は用地や建物調査を行い、地域振興施設計画や運営等の検討も行う必要があり、それに対する委託料として予算計上している。

**大下** 昨年行われた通学路の危険箇所は何件か。

**岩崎建設課特命担当課長** 国、県関係分が28件、市の関係分が26件、計54件。

### 教育委員会

**前重** 市の教育において「みやや協育推進事業」に力を入れているが、謝礼金が前年度より約200万円減少しているがなぜか。

### 大下学校教育推進室長

少年自然の家「輝らり」での通学合宿において、自校の教員が夜も含めて



配水施設が整備される山田地域

指導するということ、夜間の宿泊指導員謝金を減額した。

### 特別会計

### 水道事業会計

**金行** 甲田町山田地域に配水施設を整備するが、加入率は何パーセントを予想しているか。また、工事着手はいつごろか。

### 伊藤上下水道課特命

**担当課長** ほぼ100パーセントの加入率となる。工事着手は8～9月を予定。

**石飛** 水道管の老朽化が進む中で、改良事業の計画は。

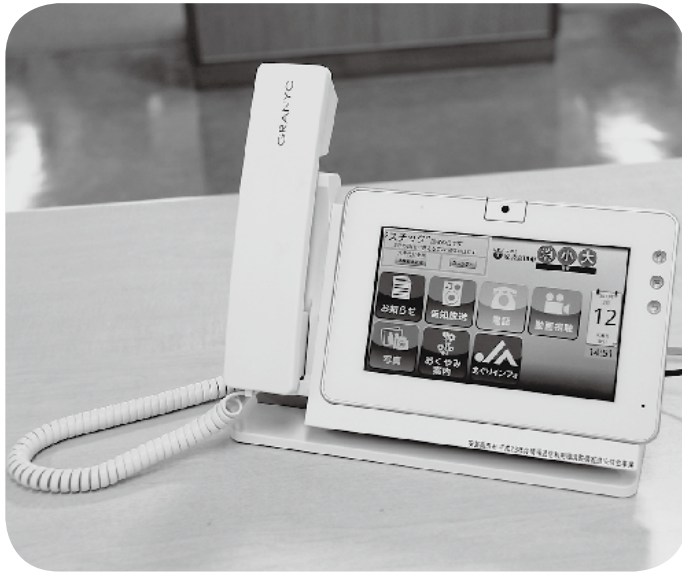
**伊藤上下水道課特命担当課長** これから老朽管の更新計画等を立てていくように考えている。

24年度補正予算

# 3億7365万円追加 (一般会計総額241億1200万円)

可決

お太助フォンに接続する全国瞬時警報システム(Jアラート)の整備など



Jアラートが接続されるお太助フォン

## ■ 一般会計

### ■ 企画振興部

**児玉 広域ネットワークの活用は。**

### ■ 広瀬情報政策課長

この事業は、今後土師ダムや神楽門前湯治村などの観光用施設に専用の光回線の活用が可能になり、より利便性を高める効果も期待できる。

**熊高 今後、議会中継を支所にも放送できないか。**

### ■ 竹本企画振興部長

お太助フォンの整備で基本的には全家庭に議会中継ができる仕組みを設けたい。

**石飛 行政ネットワークの維持管理・更新・強靱化とお太助フォンは一体と考**

えてよいか。

### ■ 広瀬情報政策課長

有利な財源である合併特例債が利用でき、一体化して予算計上した。

**水戸 過疎集落等自立再生緊急対策事業費補助金が国の査定**

で採択とならない場合は。

### ■ 竹本企画振興部長

他の財源を調査する中で、地域と連携しできるだけ実施できるように対応を図りたい。

## ■ 特別会計

### ■ 農業集落排水事業特別会計

**山本 今回の補正予算で台帳作成業務委託料の金額が大きいのは。**

**上本上下水道課長** 市内6箇所処理場の施設台帳作成のため。

### ■ 金行 25年度当初予算にも同額の台帳作成業務委託料が計上されているが。

**上本上下水道課長** 今回の補正で6箇所、25年度予算で6箇所計12箇所の台帳を作成する。

### ■ 久保

すでに台帳は作成していなければ



台帳整備される農業集落排水施設

ならなかったが、今回補正による予算で補完できると理解してよろしいか。

### ■ 上本上下水道課長

建設当時、作成すべきであったが、今回の制度で確立されたことに併せて施設台帳を作成し、機能診断を実施する。

総務企画常任委員会

3月定例会で付託された議案2件を、3月4日に委員会を開き慎重に審査し、すべて原案のとおり採択しました。

(主な審査)

○安芸高田市公の施設の指定管理者の指定について

○安芸高田市光ネットワーク設備管理運営基金条例

- 委員長 山本 優
- 副委員長 石飛慶久
- 委員 玉重輝吉
- 委員 水戸眞悟
- 委員 熊高昌三
- 委員 塚本 近

## 安芸高田市公の施設の指定管理者の指定について

☆公募が原則だが、特命で指定した理由

- 利益の出ない施設
- 既存の管理者が適任

### 概要

25年度協定締結する指定管理者制度の導入施設は14施設。

「指定期間の考え方」

- ・原則新規に協定を締結する指定管理者候補は1年間（9施設）。
- ・地域振興施設や基幹集会所などは3年間（1施設）。
- ・住民サービスを提供する施設や住民福祉の向上に寄与する施設は5年間。（4施設）

### 質疑

石飛 甲迎館(甲立駅舎)の指定管理予定者の「株式会社こうだ21」の設立目的は。

竹本企画振興部長 資本金1000万円です。本市が300万円出資している。安芸高田市地域振興事業団と同じく行政の補完業務の受け皿として旧甲田町時代に設立された会社である。今までJRと契約し、きつぷ販売と駅舎の管理清掃をされていた。今回、駅周辺駐車場の管理の経緯を踏まえ継続し管理をしていただきたい。

熊高 指定管理を受ける組織について、地域集会所などは現状で良いと思うが、今後、責任の所在をはっきりさせるためにも法人化していくなど、総合的な考えを伺う。

竹本企画振興部長 原則として今回の指定管理者の施設等は、個人でなく、基本的に法人格を有する

## 安芸高田市光ネットワーク設備管理運営基金条例

☆7年～12年先を見据えて

### 概要

25年4月から光ネットワーク整備事業によるインターネットサービスや「お太助フォン」の一部供用開始に伴い、設備の管理運営経費の財源に充てるため基金条例を制定するもの。

### 質疑

石飛 物品貸付収入の一

団体に指定管理者として選定していきたいが、状況によっては、そうでない部分もあり、やむを得ないという判断で対応する。

部とは何か。また、安定した貸付収入なのか。

広瀬情報政策課長・竹本企画振興部長 10年間、契約をした電気通信事業者に市の光ネットワーク設備を貸与し、貸付金収入を得る。貸付料は、加入率等を想定し一定額入る。

熊高 なぜ基金を積み立てるといふ考えをされたのか。

広瀬情報政策課長・竹本企画振興部長 今後、設備の更新時に、すべてを一般財源でまかなうことは大変厳しいため、使途を設備更新に特定して基金を積み立てる。



光ネットワーク管理基地



文教厚生常任委員会

3月定例会で付託された議案2件を、3月5日に委員会を開き慎重に審査し、すべて原案のとおり採択しました。

(主な審査)

- 安芸高田市新型インフルエンザ等対策本部条例
- 安芸高田市給食センター設置条例の一部を改正する条例

- 委員長 児玉史則  
副委員長 前重昌敬  
委員 玉井直子  
下岡多美枝  
青原敏治  
金行哲昭

新型インフルエンザ等 対策本部条例

概要

新型インフルエンザ対策特別措置法の制定に伴い、安芸高田市インフルエンザ等対策本部に関し必要な事項を定めるもの。

質疑

金行 新型インフルエンザの定義は。

中元保健医療課長

鳥から人に感染する高病原性鳥インフルエンザが変異し、人から人に感染するようになったものを表現している。

前重 新型インフルエンザ等の「等」とは何を指

しているか。また、対策本部の人数は何名程度想定しているか。

岩見保健医療課係長

国の対策特別措置法が、新型インフルエンザのみを対象にするものではなく、新たに蔓延する危険性のある新しい感染症にも対応する法律で制定されているため、「等」という表現で幅広く対象を捉えている。具体的な人数については示されたものは無いが、国・県の行動指針、行動計画を参考に、人数、構成について検討していく。



給食センター

安芸高田市給食センター設置条例の一部を改正する条例

概要

安芸高田市給食センター調理の余剰能力の活用と、子育て支援の観点から、私立の幼稚園にも給食の提供を可能とするための改正を行う。

青原 これまでの経過及び内容等については。

沖野教育次長

八千代町の私立ひの川幼稚園において、弁当業者から中止の申し出があった。また、当センターの食育の取組みに関心をもたれていることから、週2食の給食提供の依頼があった。

継続調査報告

学校規模適正化に関すること

常任委員会が教育委員会に対し報告を求めた事項

- ◇平成22年4月 安芸高田市の学校規模について【答申】
- ◇平成22年12月 学校規模適正化推進計画策定に係るパブリックコメント報告
- ◇平成23年1月 安芸高田市学校規模適正化推進計画報告
- ◇平成23年4月 各学校保護者、地域振興会へ説明スタート
- ◇平成24年12月 学校規模適正化推進計画説明会における共通質問回答報告
- ◇平成25年2月 24年度における説明会の実施状況報告

産業建設常任委員会

3月定例会で付託された議案2件を、3月6日に委員会を開き慎重に審査し、すべて原案どおり採択しました。

(主な審査)

○道路法に基づく道路の構造の技術的基準等を定める条例

○河川法に基づく準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例

(審査した要望書)

○広島県建設業新分野進出支援補助を活用した休耕田活用事業について

- 委員長 大下正幸
- 副委員長 穴戸邦夫
- 委員 久保慶子
- 委員 先川和幸
- 委員 秋田雅朝
- 委員 藤井昌之

## 道路法に基づく道路の構造の技術的基準等を定める条例

～地域の自主性、自立性を高め、改革の推進を図る～

■概要

「道路法の一部が改正され、これに基づく道路の構造の技術的基準を条例で定める。」とされたことに伴い、必要な事項を定めるもので、新設、改良の場合適用される。

■質疑

秋田 条例を定めることで、市にどう影響があるか。

河野建設部長 今までも国の基準を使っており、今までと変わったところはない。

先川 ただし書きの中の規則の考え方は。

賀志古管理課長 条例で定めるほか、特例の部分を規則で定める。

藤井 現状の歩道の利用についての広報は。

市長 市民啓発は大事だと思う。



自転車と歩行者の共有する歩道設置道路

## 河川法に基づく準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例

■概要

河川法の一部が改正されたことに伴い、必要な事項を条例で定めるもの。

■質疑

なし

### 要望

◎「広島県建設業新分野進出支援補助を活用した休耕田活用事業について」

要望者 社団法人 安芸高田市建設業協会

要旨 耕作放棄地等の最有効利用策としてシートパイプ工法（浅層暗渠法）による農地の再生を市の補助事業として働きかけていただきたい。

【審査の経過】 上記の要望は、委員会で継続審査とした。

一問一答

# 14人が市政を問う

**宍戸** JR芸備線の利用促進とサービス向上の取り組みは。  
**市長** 昨年、利用実態調査を実施したが、その結果をもとに新たなサービス向上の取り組みにつなげた。



**宍戸 邦夫**  
(無所属)

## JR芸備線

### 利用促進の取り組みは

**市長 / 新たなサービス向上に取り組む**



JR芸備線

**宍戸** 自治基本条例による法体系の整備は。  
**市長** 行政と住民の責務と役割を明確にしなが、住民自治を拡充するとともに自助・共助・公助の精神を踏まえた制度の充実が必要。

**宍戸** 畜産農家と耕種農家への支援として、飼料イネ栽培面積拡大に向けた取り組みは。  
**市長** 資源循環型農業を推進する飼料イネ栽培の取り組みは近年特に注目を集めているが、高額な専用コンバインなどが必要。今後も可能な支援を行う。

**水戸** 空港アクセス道路と連結し、本市の基軸ラインである県道吉田邑南線が昨年夏に愛称を「陰陽神楽街道」と命名されたが、周辺には数多くの名所旧跡や観光施設が存在する。道路改築はもとより本市の観光振興の基軸路線として特徴ある路線整備が喫緊の課題と捉える。ウェルカムモードの漂う独自性豊かなキャラクターやサイン類な



**水戸 眞悟**  
(絆)

## 陰陽神楽街道

### 観光振興の基軸に

**市長 / 邑南町と観光交流協定を締結**



陰陽神楽街道 (犬伏山付近)

どの整備についてその方針を伺う。  
**市長** 交流人口の拡大と地域経済振興を目的で「文化・スポーツ及び観光交流協定」を邑南町と締結した。道路管理者である広島県では観光ロード推進事業計画や神楽の舞めぐり事業計画に着手さ

- れた。神楽音響のメロディーラインや沿道植栽による景観形成、案内誘導看板や歩道整備、神楽オブジェなどの整備計画の具体化に取り組む。
- その他の質問**
- 観光関連所管部局の一元化を
  - 再生可能エネルギー研究基礎調査の進捗状況
  - 学校における暴力事案、体罰事案、いじめ事案の現状と対策

### 限界集落対策 限界集落から消滅集落にならない対策は

市長／集落の特性を大切にし、住民の協力を得ながら問題解決に取り組む



藤井 昌之 (無所属)

環境課の設置で、機構改革の強化が必要ではないか。  
市長 障害者自立支援法から障害者総合支援法に改正され、その制度を熟知しな

藤井 職員の健康管理と今後の対応策については。  
市長・教育長 本人や周囲の職員が、早期に不調に気づくことが大切なことであるが、必要に応じカウンセリングなどの対応をしている。

がら次の展開に進めたい。環境問題も含め対策を講じたい。

藤井 集落機能の維持、再生方策、地域資源管理の方策と今後の課題、ビジョンは。  
市長 現在528の行政区のうち、「限界集落」が63行政区、危機的集落」が11行政区で集落活動も深刻な問題となっている。市民の協力を得ながら施策を着実に実施し、問題解決に取り組みたい。



集落に、より活力を

### 新設の市観光協会の方向性は

観光協会

市長／交流人口の拡大を目ざし全国発信する



先川 和幸 (無所属)

先川 新設の市観光協会の方向性は。  
市長 交流人口の拡大を目ざし、市内各地の観光資源や関連組織をつなぐ機関として、また観光情報発信の窓口の一本化を図るため設立する。



観光情報の発信

今後は、心のもてなしで本市のいい所を手づくりで全国へ発信していく。

を密にして市民に情報の提供を行う。

先川 PM2.5(微小粒子状物質)の対応は。  
市長 観測点は県内に10ヶ所、近隣では三次林業技術センターで観測されている。今後、国・県と連携

先川 空き家の現状と今後の対策は。  
市長 平成22年度調査では、吉田町を除き約660件ある。空き家は「定住対策」の大きな武器であり、今後取り組みを強化する。

**秋田** 自動車道の排水路・ボックス内の今後の維持修繕について、本市財政面も考慮するとネクスト西日本と協議が必要と思うが。

**市長** 道路建設後約40年が経過し、水路修繕等が必要となっている。維持管理では協定書で双方協議の規定もあり、現地調査・検討・協議を行い、できる限り市の負担を避けるように整備したいと考え

## 道路排水対策

### 中国自動車道路の排水路等維持管理は

**市長**／**（株）西日本高速道路と協議し整理したい**



**秋田 雅朝**

(政友会)

ている。

**秋田** いじめ対策、様々な問題行動の対応には、道徳教育の充実が重要と考える



高速道路下の排水路

が、今後の見解は。  
**教育長** 道徳教育を充実させることは「生徒指導」の問題解決を容易にし、未然防止につながるかと考えている。今後も「郷土理解教育」の体験活動を充実させ、道徳による児童生徒の豊かな心の育成に努めたい。

## 土師ダム下流・入江床止 附帯幹線水路改修は

**市長**／**地元分担金が安価な事業を水利組合に提案**



**前重 昌敬**

(絆)

**前重** 整備時期、維持管理状況は。  
**市長** 昭和49年から55年に整備され、長屋・上入江・下入江水利組合、甲元・福原・除水利組合に維持管理いただいている。



土師ダム下流・入江床止 (河床下に既存埋設管)

**前重** 改修を順次進めていく必要があるのでは。  
**市長** 国・県補助事業を調査し、採択要件に合致し、高率補助の事業により地元分担金が安価になる事業を水利組合へ提案していきたい。

組みづくりには必要で、広島県土地改良事業団体連合会等と連携し、職員の育成も行っていく。

**その他の質問**

- 情報通信技術（ICT）を活用した対策について。
- 自殺防止対策について。
- 学校教育における土曜日授業の方向性について。

# 国の緊急経済対策を本市へどう生かすか

## 市長/国の「攻めの農林水産業」等で本市に合ったものを事業化する



熊高 昌三 (無所属)

熊高 国は「機動的な財政運営」として5.2兆円の公共投資を追加決定し、25年度の予算案でも前年対比15・6%増5.3兆円が計上された。本市として、長期的に雇用が見込まれる一次



幼児期からの食育推進

熊高 産業、とりわけ林業への先行的、積極的な取り組みをされてどうか。  
市長 本市の現状に合う国の事業を精査し、新たに盛り込まれる林業施策へ、安芸北森林組合等関係機関と連携し、積極的に取り組んでいく。

熊高 食育を含め、発達、愛着障害予防への支援強化が必要ではないか。  
市長・教育長 子育て支援ガイドブックで妊娠の段階から支援し、小中学校では「校内委員会」を設け「特別支援教育コーディネーター」を指名するなど、体制整備を進めている。



石飛 慶久 (無所属)

石飛 「公共施設現状分析事業」「総合計画策定準備事業」に着手される自助・公助・共助また公共事業のあり方は。

市長 市民総ヘルパー構想等、市民の自助が大きな財政支援になる。「行政と住民の役割分担」の基礎は「補完性の原理」。本年度は、総合計画策定に向けた市民アンケートを実施・分析し、公共事業等のあり方の方向性を定めたい。

石飛 アンケート内容によっては、補完するものが違うが、どのようなアンケートを実施するのか。

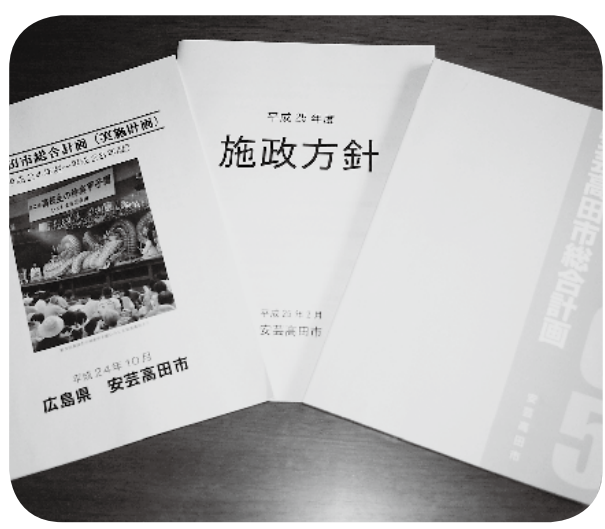
**総合計画**

**公共事業のあり方は**

**市長/市民とともに方向性を定めたい**

竹本企画振興部長 具体的な項目等は、精査し対応したい。  
様と一緒に長期計画を策定したい。

石飛 受益者負担・事業の選択と集中は。  
市長 社会状況の変化を踏まえ、行政改革を進めながら、皆  
○安芸高田市公共建物等木材利用促進方針  
○国史跡郡山城跡



雇用が成り立つ長期計画の策定に向けて

**久保** 鹿の被害対策としての網や柵に補助をされているが、人と動物の住み分けの対策を考え、実行していく仕組みづくりが必要では。

**市長** 捕獲と防護の両面から対策を講じ



久保 慶子  
(無所属)

有害鳥獣対策

人と動物の住み分けの仕組みづくりを

市長/既存の事業の継続と住民が協力・参加しやすい仕組みづくりをしたい

ており、一定の成果はあるが、完全に被害をなくすところまではいっていない。地域では防護柵の設置等に加え、市民の主体的な対策が必要となる。山林と耕地の境界部分の下刈りを行い、緩衝帯とし



人と動物の住み分けを

て整備することにより有害鳥獣の侵入を防ぐ「里山林整備事業」も引き続き実施する。住民の協力を得るために、参加しやすい仕組みづくりをやっていききたい。

**山本** 自然資源やジビエの活用は。

**市長** 自然資源の活用は国の施策と連携していきたい。森林資源の活用は境界確定が進まず所有権の問題もあり困難であ



山本 優  
(絆)

**山本** 道の駅構想の調査結果は。

**市長** 可部バイパス、尾道松江線の開通により交通量も増加すると予想され、国交省と連携し、従来の機能に加え、防災拠点化、多機能型の施設として検討している。場所としては産直市の場所が良いのではないかと考えている。またJAとの協力も得ていきたい。

道の駅

国道54号沿線活性化について

市長/国交省と連携し道の駅を設置し

る。ジビエの活用は施設や運営上の課題解決に向けて関係団体と協議している。

**山本** 学校規模適正化について進展が見えないが、今後の対応は。

**教育長** 説明会にお

いて、子どもありきで真摯に対応している。保護者の意見に温度差があるが、今後も説明会で理解を求めて行く。中学校の統合についても課題が多くあるが前向きに検討していきたい。



国道54号沿線活性化

**支所利活用**

**支所及び支所周辺の有効活用は**

**市長／市民の意見を聞いて整備していきたい**



**玉井 直子**  
(無所属)

**玉井** 各支所及び支所周辺施設の有効活用についてこれまで実施された事業内容は。

**市長** 「各支所庁舎利活用の意見を聞く会」を開催して意見をまとめ、公共施設利活用計画を作成した。「放課後等デイサービス事業」「ふれあいサロン」等の設置を行う。今後は公共施設全体の長寿化と合わせ、現状分析調査を行う。

**玉井** 防災拠点としての周辺整備は。

**市長** 支所は防災拠点として機能を果た

**玉井** 災害時に食を支える機能が重要。甲田の場合、調理室を支所に整備しては。

**市長** 調理室は大きな施設。ちゃんと対応していきたい。

していかななくてはならない。安心して集まれる仕組みが必要。



支所の有効利用を

**行財政改革**

**改革効果額を少子化対策に**

**市長／市の政策すべてが少子高齢化対策**



**玉重 輝吉**  
(無所属)

**玉重** 自治懇談会の各地区での開催状況は。

**市長** 振興会等からの申し出により開催。平成24年度は、吉田地区3箇所、美土里町、甲田町各1箇所の合計5箇所

開催。今後も開催要望があれば、随時応えていきたい。

**玉重** 職員定員適正化等、行財政改革の効果額を少子化対策へと考えるが。

**市長** 第2次安芸高田市職員定員適正化計画に基づき職員数を削減している。安

芸高田市の合計特殊出生率は1.0人と少ないと認識している。市の政策すべてが少子高齢化対策と捉えて一生懸命やっている。



更なる少子化対策を



アベノミクスで

三本の矢の効果は

市長／早期の景気回復



金行 哲昭  
(政友会)

**金行** 本市もP・I・S（電気自動車充電所）が必要と考えるが。

**市長** 市役所は売電事業者でないため料金徴収の課題があ

る。商工会を通して市内の企業に紹介する。

**金行** J・R沿線坂道での凍結による事故が多発しているが、スリップ留めの考え

は。  
**市長** 現地調査を行い、J・Rとも協議をしながら検討してい

**金行** アベノミクスによる財政出動、金融政策、成長戦略で本市の効果、その影響等は。  
**市長** 日本経済を再生するため、大胆な金融緩和、財政政策、成長戦略の三本の矢を一体的に推進するものであり、本市においても長い景気低迷により税収が減少し、早期の景気回復を期待している。



甲田町上小原の古井手第1踏切

教育環境の整備

教育予算のあり方は

市長／総体的な骨組みを検討する



児玉 史則  
(絆)

**児玉** 英語のコミュニケーション能力向上への取り組みとして外国語指導助手の増員が必要では。  
**教育長** 予算措置の課題もあり、慎重に検討していく必要がある。



電子黒板を使った授業

**児玉** 近隣市町が既に導入している電子黒板の導入計画は。  
**沖野教育次長** 次年度以降、先進地を視察するなど研究を重ねていく。

**児玉** 平成21年度以降、一般会計は増額となっているが、教育予算は減額になっている。教育予算の考え方は。  
**市長** 全般的に予算を減らす方針で結果的にそうなっている。ICTの活用も

含めた総体的な骨組みをつくり、予算もつけていきたい。

**児玉** NPOや起業家を育てていく必要がある。アイデア募集を行い、初期費用は支援し、後は自己責任で運営していただく、そういう仕掛けが必要では。  
**市長** 光ファイバーの導入に合わせ、関係者の方々から意見を頂きながら早急に実施していきたい。

25年度予算

環境にやさしい ごみゼロ社会を目指して

一般会計 5億6584万円  
(対前年度 135万円増)

認定

芸北広域環境施設組合議  
会(きれいセンター)

3月28日、芸北広域環  
境施設組合議会定例会が  
北広島町で開催され、議  
案3件を審査し、すべて  
原案のとおり可決しまし  
た。

(主な審査)

- 監査委員の選任につい  
て
- 平成25年度芸北広域環  
境施設組合一般会計予  
算に対する関係市町の  
負担割合について
- 平成25年度芸北広域環  
境施設組合一般会計  
予算

組合議会議員

- 塚本 近
- 青原敏治
- 穴戸邦夫
- 大下正幸
- 石飛慶久

(主な歳入)

- 市町負担金
- ・安芸高田市  
2億4853万円
- ・北広島町  
1億3615万円
- 交付税  
1502万円
- ごみ処理手数料  
1億509万円

(主な歳出)

- ごみ処理費  
4億9820万円

■主な質疑

- Q ごみの出し方につい  
て広報活動をしてはどう  
か。
- A 出し方が悪い場合は  
個別に貼り紙や注意をし  
ているが、今後市町と連  
携して広報を積極的行  
いたい。
- Q 日曜開場の取り組み  
は評価できる。月1回の  
開場を2回にすることに

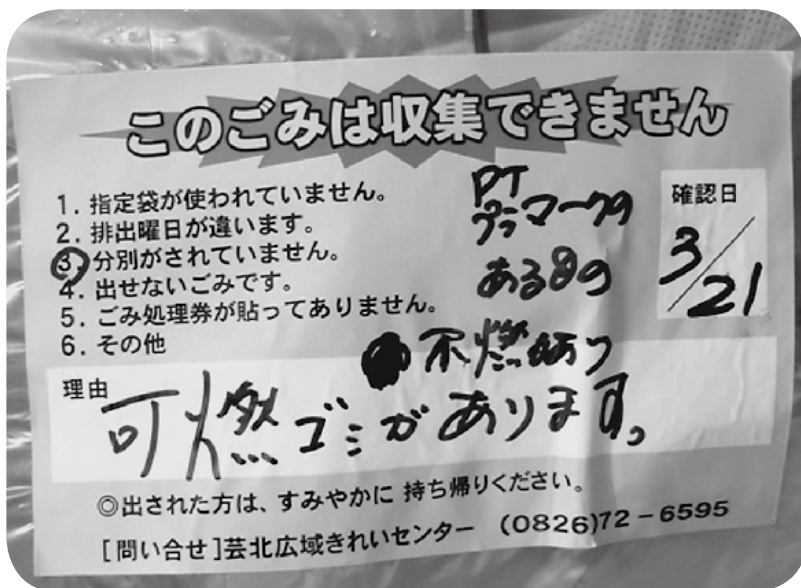
検討の余地はないか。

A 開場頻度について  
は、祝日も開場しており、  
要望及び費用対効果につ  
いては更に検討が必要と  
思われる。

Q 市町の組合負担金が  
だんだん増えてきている  
状況だが、安芸高田市の  
場合、26年度からは交付

税も減ってくる状況であ  
る。経費削減、資源化  
物の収入増のためにも、  
もっと住民に対して今の  
現状を伝えるべきではな  
いか。

A 市民、町民と一緒に  
なって、長期計画等も作  
成しながら、ごみの減量  
化・資源化を進めていき  
たい。



ごみの分け方・出し方に注意

# 議会のうごき 25年1月～3月の議会の活動状況

| 月 | 日             | 曜日 | 会議等の名称       | 会議の主な要旨                                    |
|---|---------------|----|--------------|--|
| 1 | 9・16<br>22・29 |    | 議会広報特別委員会    | 議会だより第36号の編纂                               |
|   | 11・22         |    | 議会運営委員会      | 定例会の運営、政務調査費について                           |
|   | 22            | 火  | 全員協議会        | 市長、議長、委員会報告等                               |
|   | 23            | 水  | 総務企画常任委員会    | 八千代支所整備計画（案）について                           |
|   | 28            | 月  | 全員協議会        | 葬斎場建設現場現地調査                                |
| 2 | 15            | 金  | 議会運営委員会      | 定例会の運営について                                 |
|   | 15・22         |    | 全員協議会        | 政務調査費、市議会会議規則の改正について                       |
|   | 22            | 金  | 第1回定例会（開会）   | 議案の上程、委員会付託                                |
|   | 26            | 火  | 予算決算常任委員会    | 24年度一般・特別会計等補正予算の審査                        |
|   | 27～3/1        |    | 第1回定例会（一般質問） | 質問者14人                                     |
| 3 | 4             | 月  | 総務企画常任委員会    | 付託議案審査2件、市長報告等                             |
|   | 5             | 火  | 文教厚生常任委員会    | 付託議案審査2件、市長、教育長報告等                         |
|   | 6             | 水  | 産業建設常任委員会    | 付託議案審査2件、要望審査、所管事務調査等                      |
|   | 8・11<br>12・13 |    | 予算決算常任委員会    | 25年度一般・特別会計等当初予算の審査<br>24年度一般・特別会計等補正予算の審査 |
|   | 15            | 金  | 第1回定例会（閉会）   | 委員長報告、議案の採決                                |

## ■25年第2回定例会は6月に開催を予定しています。

※ 詳細は、市のホームページや通知公報でお知らせいたします。

## 傍聴記

吉田町  
山岡和子さん

女性議員3名誕生の市議会を久しぶりに傍聴しました。一問一答方式になって初めてです。以前は、あらかじめ提出された質問と用意された回答を読み上げるだけなので、いつのまにか行かなくなりました。議会だよりを読めば市政の動きはわかるから。今回は活気がありよかったです。が、あまりに追求しすぎはいかがなものでしょうか。議員は市の全体のことを考え、問題の起きた市町村の轍を踏まぬよう行政をしっかり監視してほしいです。また、安芸高田市が生き残れる政策を行政と共に提案していただきたいと思えます。

甲田町  
大前真美子さん

昨年の11月の市議会議員選挙において、女性議員さんが3名当選されました。私たち女性にとって、とてもうれしいかぎりです。先日の2月28日、初めての議会傍聴、期待に心弾ませて行ってきました。議場の緊張した雰囲気の中、私たちが支持した議員さんが、市長さんに果敢に質問をしている姿や議場の皆さんの真剣な様子に、とても感動を覚えました。これからも女性のパワーをしっかりと活かして住みよいまちづくりを進んで欲しいと思いました。

# 地域のかがやき

## 吉田 伝統継承



山手観音相撲大会 4月14日

## 八千代 満開の桜の下で



土師ダムのどごえ公園 4月12日

## 美土里 一安全・安心一



北警察官駐在所新築移転 3月7日

## 高宮 少年剣道教育奨励賞受賞！ 高宮春風館



県北招待剣道大会にて 3月20日

## 甲田 グラウンドゴルフ大会



小田東地域振興会 3月17日

## 向原 完成が待たれる 生涯学習センター



### 編集後記

新年度がスタートしました。野山に花咲くあたたかい季節の到来です。  
25年度も本市の議会活動を皆様にわかりやすく伝えるよう、広報委員一同、議会広報の充実に向け取り組んでまいります。  
読みやすく、わかりやすく、親しみのある議会だよりにしていきたいと思っております。  
皆様のご意見、ご感想をお寄せください。  
(玉井直子)

#### 〈発行責任者〉

議長 塚本 近

#### 〈議会広報特別委員会〉

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 石飛 慶久 |
| 副委員長 | 穴戸 邦夫 |
| 委員   | 玉重 輝吉 |
|      | 玉井 直子 |
|      | 久保 慶子 |
|      | 前重 昌敬 |



あきたかた  
議会だより  
人輝く・安芸高田

第37号 2013(平成25)年5月1日発行

発行者 安芸高田市議会  
編集 安芸高田市議会広報特別委員会

〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791番地 TEL(0826)42-5621

FAX(0826)47-0250 http://www.akitakata.jp/